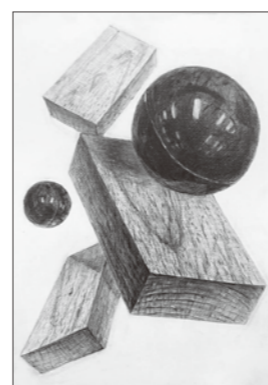




3/25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日	4/1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	
A ブロック：12日間コース 24単位 72h						使用画材：鉛 水							
静物デッサン (モチーフは随時変わります) 12h B3サイズ 画用紙		構成デッサン 12h B3サイズ 画用紙		静物デッサン 12h B3サイズ 画用紙		休講		石膏デッサン 12h 木炭紙サイズ 画用紙		静物石膏デッサン 24h 木炭紙サイズ 画用紙			
						17:30～ 多摩美術大学説明会							
								17:30～ 武蔵野美術大学説明会					

基礎科の春期講習

シンプルなモチーフから基本的な立体の捉え方や表現方法を学びます。初めての方でも安心して始められるように、道具の使い方からデッサンの進め方まで、講師のデモンストレーションを交えてレクチャーします。



構成デッサン

必要な画材

画材をお持ちでない方は、講習会のお申し込みと一緒にご購入ください。

鉛 鉛筆デッサン

ステッドラー鉛筆/各種12本セット	×1	木製パネル(Bサイズ)	×1
プラスチック消しゴム	×1	デッサンスケール(Bサイズ)	×1
練りゴム	×1	デッサンスケール(Dサイズ)	×1
デッサン用羽筆(小)	×1	鉛筆ホルダー	×1
カッターナイフ	×1	クロッキー帳	×1
フィクサチーフ	×1	トンボホルダー消しゴム/角型	×1
デッサンクロス	×1	トンボホルダー消しゴム/丸型	×1
はかり棒	×1		
目玉クリップ(大)	×2		
擦筆	×1		

水 水張り

水張り用刷毛	×1
水張りテープ	×1

基本って
言われるけど、
デッサンって
なに？

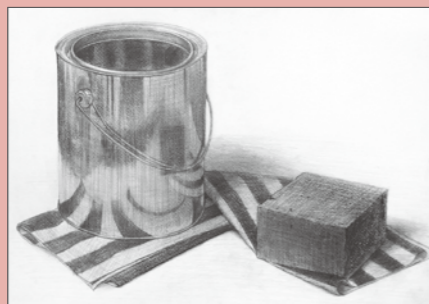
DESSIN

[フランス語]

物体の形体、明暗などを平面に描画する美術の制作技法、過程、あるいは作品のこと。長時間モチーフと向きあうことで自分の絵を客観的に見る力を習得できます。大学に入るとデッサンをする時間はグッと減るので、入学前の今がこの基礎力をつける最も適した時期といえます。どの分野に進んでも必ず力になって自分を支えてくれるでしょう。

静物デッサン

油画科、日本画科、デザイン・工芸科など、平面作品を扱う学科では必須項目です。形の成り立ちや、立体感の出し方、構図のバランスなど、自然な描写力を身につける為には、静物デッサンが最も効果的です。距離や質の違いを意識して描写してみましょう。



POINT

- モノをそっくりに描く
- モノが同じ台面に置かれている状況を描く
- モノとモノの関係性（空間や質感）を描く

石膏デッサン

石膏デッサンが、全ての学科で必修項目と言われるのは、古代から近代までの彫刻作品を模写することにより、自然と豊かな造形センスが備わるからです。形やトーンを厳しく修正し続け、根気と集中力を身につける為にも、石膏デッサンは非常に重要です。



POINT

- 彫刻作品を模写する事で、美しい形を知る
- 白い塊なので陰影による立体感を表現する
- 比率、座標などを基に、正確な形を描く

構成デッサン

デザイン系の学科では必須となりますが、構成力は全てのクリエイターの造形的な基盤です。描写力があっても、構成力が備わっているか否かでは、作品の良し悪しに天と地の違いが出ます。構成のコツを掴むには、多くの試行錯誤が必要です。まずは定石パターンを覚えましょう。



POINT

- 画面内にモチーフを配置し、バランス感覚を養う
- 定石パターンを知り、それぞれの構成の効果学ぶ
- モチーフを大きく描くので、描写力が身に付く

細密デッサン

作品にリアリティを持たせ、観る人を唸らせるためには、じっくりと集中力し、気付きにくい微妙な違いを見つける観察力が必要です。一つのモチーフを長時間かけて見つめることで、これまで見えていなかった「何か」を発見するセンスを身につけましょう。



POINT

- どこまでも対象を見つめる集中力
- 微細な違いに気付ける観察力
- ものの成り立ちを知る洞察力